

舞  
姫







おっぱい... 561...  
おっぱい... 34...  
おっぱい... 2...  
おっぱい... 1...

おっぱい...

おっぱい...

おっぱい...  
おっぱい...

おっぱい

おっぱい



おっぱい

おっぱい...  
おっぱい...



成人向

同人誌

ピルリハコ  
ザルルルル

20021006



2002

SAMURAIYURU  
DORURINEKO





# 高橋 真

今回はDOAのキャラクター。久々！というか本にするのははじめてですわん。最後まで楽しんで読めるような本をがんばって作っていかつてもりですので今回もよろしくお願いします。



つうか、ビーチバレー、こういう水着でお願いしたい。





Reincarnation



七羽



霞：水を：

水鏡を見てらん

水鏡…？

カク







やってるわね

また何人か  
連れて来たから  
徹底的に  
やっちやめて

この膣内に  
だしちやつていこう

いっかん出して  
やってる

いっかん出して

あッ！ッ！ッ！  
アッ！ッ！ッ！

OK

種付けは済ませたい

いっかん出して

















あーん！  
んんんん

こっちもあぐ  
使えるのよっ♡

使いなさいよっ！

んんんん...



あぐ！

ほら、ケツ  
しめろよ。

姉ちゃんに  
勝つんだろ？

あぐ！  
んんんん！



んんんん！

ザザザザザザは...  
あぐ！

腹に注いで...  
七なうだい

んんんん！





アッ!!

アッ!!

アッ!!

女王さまの胸と尻の両方しかしよつがねえだろ。

どうする？

あ...!!

アッ!!

アッ!!

アッ!!

ズン!!

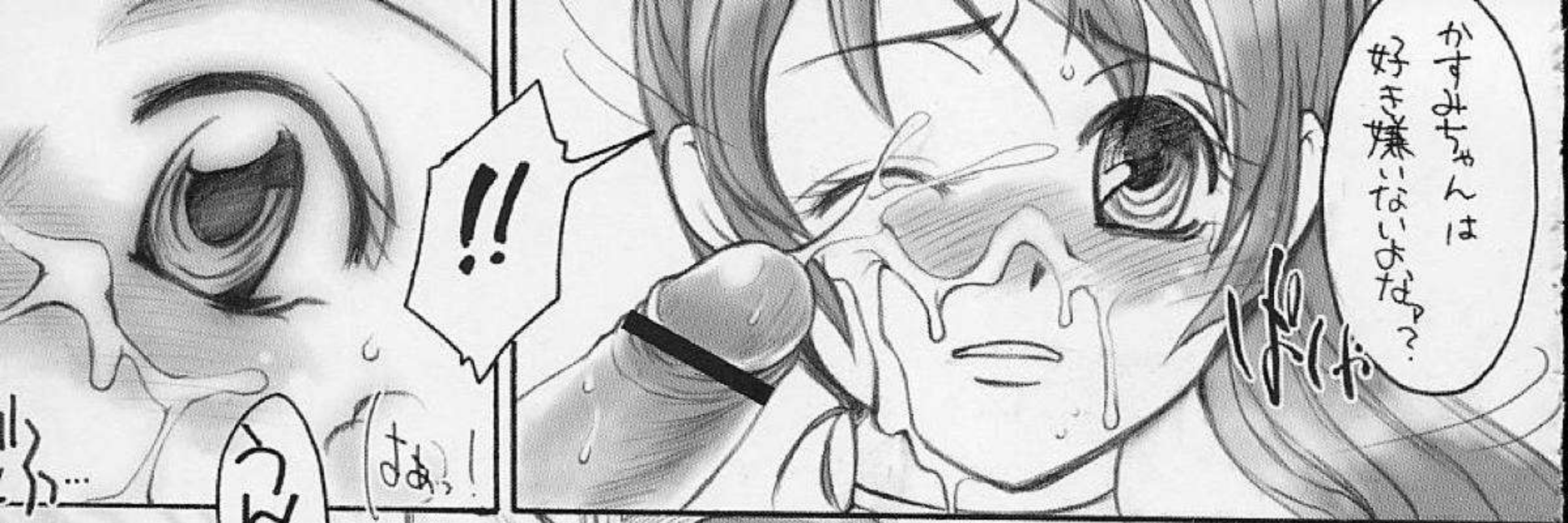
ズン!!

アッ!!  
いかせちまおうぜ









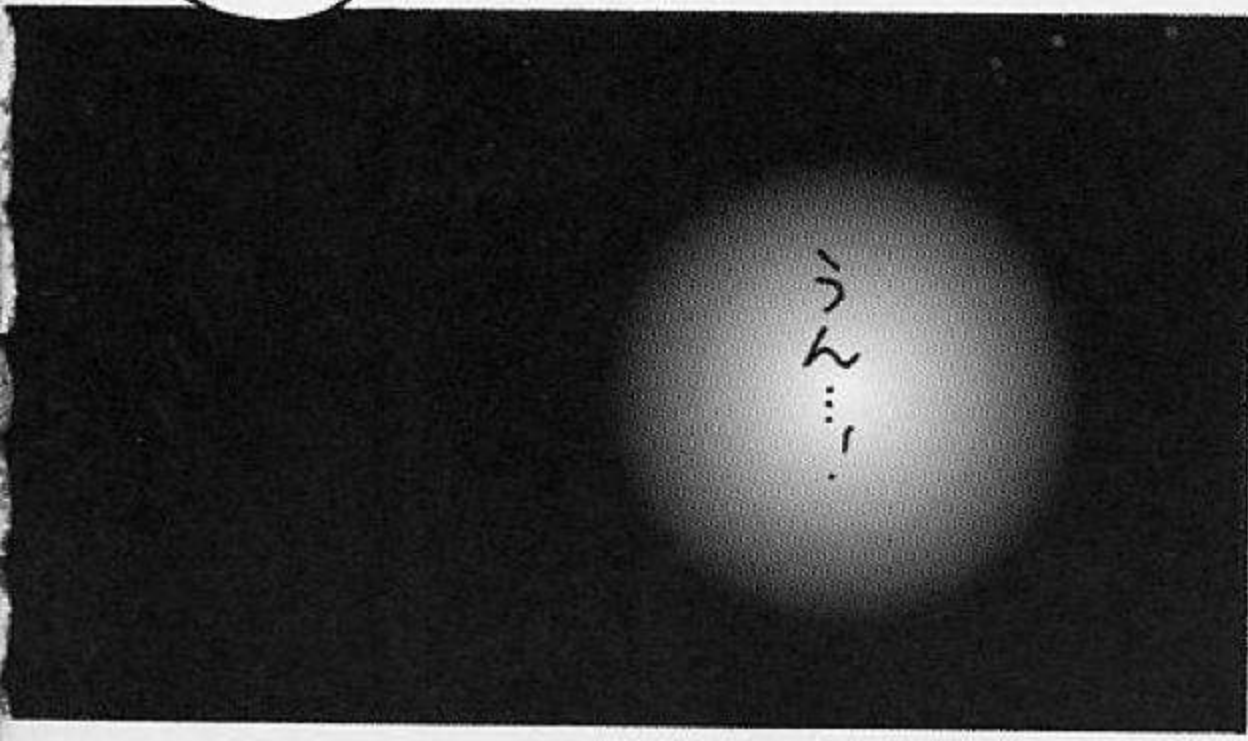




Drink...  
Don't...  
Drink

Drink...  
Don't...  
Drink

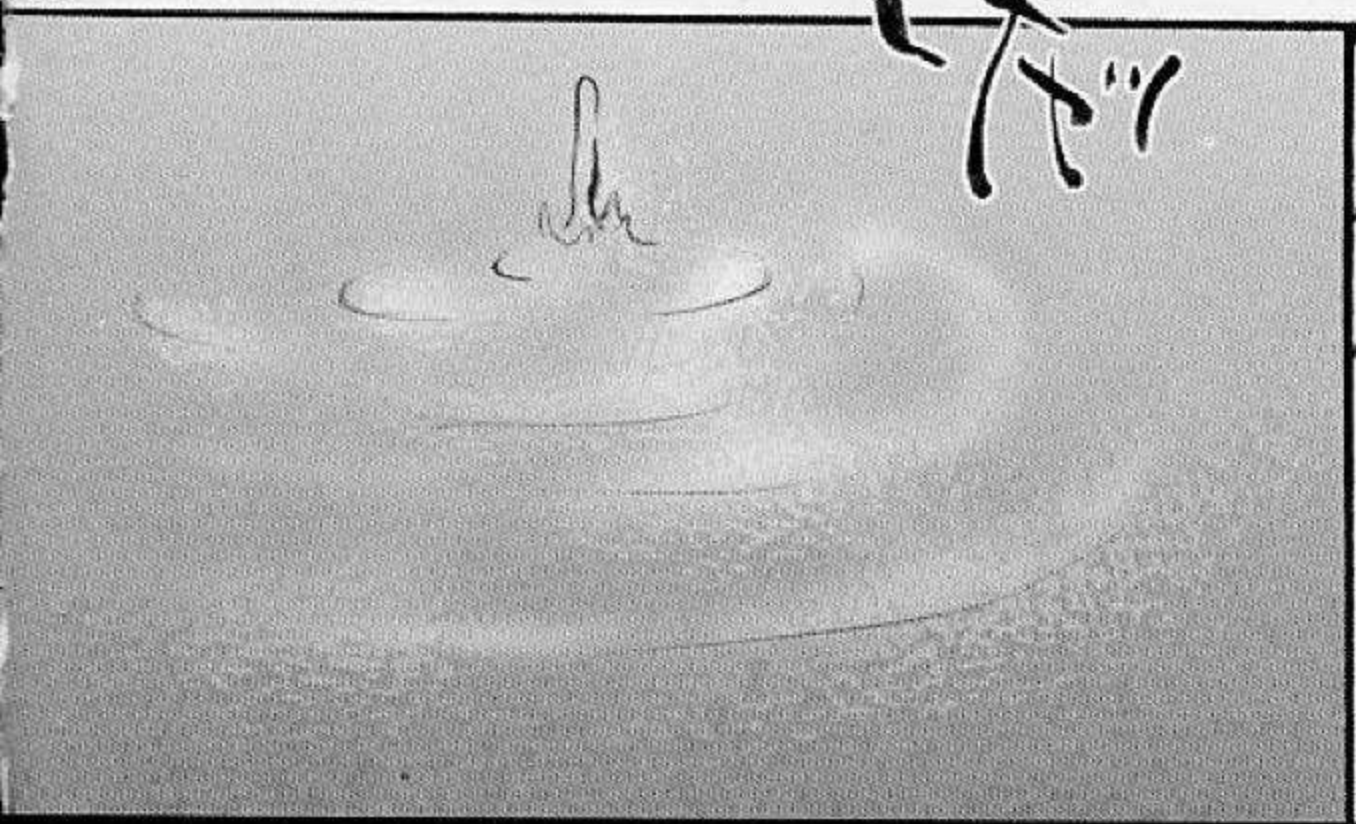
これからも沢山  
飲んで立派なミルク  
飲み奴隷になろうね



うん...



ミルク





今のほ…何？



ガッ

今のほあんだの  
さけられない未来



ほっ

みんな、霞が  
いたわよ。

終了









まずは、朝ごはん。

私は1回抜け忍になって戻って来た身。

朝ごはんは用意されません。

でも修行に耐えるには朝はしっかり取らないと…。

しょうがないので里の男たちに朝ごはんをいただきます。



しっかりお口で御奉仕しないと男たちはごはんをくれません。

深くくわえて喉の奥でぐりぐりとかすったり

浅めにくわえてカリのところを舌でちろちろと刺激しながらくちびるを

すっぼりすぼめて亀頭をだしいれしたりするとようやく

霞の口に暖かいザーメンを流し込んでくれます。

大切な栄養だから一滴たりともこぼさず大事に咀嚼しながらいただきます。





朝ごはんの時間が終わるとすぐに修行の時間です。

女忍者たるものときには大事な部分にモノを隠さなきゃいけないこともあるということで、パイプを入れて里を一周させられます。結構広いの…。でも見張りがついてて、ズルでもしようものならもっときついお仕置きが待ってるのわかってるから、恥ずかしくてもちゃんと一周しなきゃ…。

は、はずかしいよおっっ！！

それとおマンコと、おしりのパイプが振動して、こすれて…。歩くと霞のでっかい気にしてるの… )おしりがぶるぶる揺れるから振動が伝わってきちゃって、よけいに…感じてきちゃうの…。あ、ああ…なるべく摺るように足を運んで…。

ポトリ。

いや！！パイプ落としちゃった…！！

どうしよう…ああ、ちゃんと見張りが見てるわ…。

すぐさま戻しても許してくれそうにない冷たい目でこっちを見てる…。

「罰だ…こうして歩け」

後ろに垂れた布を帯のところまでたくしあげられ、おしりをまるだしにしたみっともない格好であとの半分を歩く羽目になっちゃった…。どうしよう、みんなこっち見てる…。

あとの半分、ちゃんと落とさずに歩けるのかなあ…？

午前中の修行はこれで終わりじゃないの…。

次はおしりの穴を鍛えます。太いプラグを入れて、その上生暖かいお湯が注がれます。

一体どのくらい入ったら止まるのかしら…？

時間がゆっくり経ってるように感じて他の事を考えるように努めたけどムダな努力で、どんなに考えてもお腹がぎゅるぎゅるして、頭の中も変になってきちゃった…。

どのくらいだったのかしら？

お湯は全部入ったのかしら？

不意にお腹の痛みがピークに達し、おしりの穴に力を入れると今度は尿意が襲って来て耐えきれずにオシッコもらしちゃった…。

暖かい感触が気持ちよくて、気をゆるめた瞬間に、おマンコがびくってなって、…いっちゃったの…。





ようやく午前が終わって質素なお昼ごはんをいただくと  
少しだけ休憩をとってすぐに午後の修行。  
ちょっとしたものだと思っていたので安心していたら  
急に目隠しをされてびっくりしちゃった。  
「ちょっとしたゲームみたいなものさ」  
男が部屋に次々と入ってくる声がある…？  
「この中に疾風のチンポがあるから当ててごらん」  
「えっ!？」顔が紅潮するのがわかる。  
「いろいろな感覚をやしなうのも大切だからね、  
チンポ以外さわっちゃダメだよ」

次々にチンポが顔に押し付けられ、  
視覚以外のすべてを使って感じ取ろうと  
つぎつぎとちんぽにむしゃぶりつく。  
「それでも…ない…これ…?かなあ…」  
「もっとしゃぶってみないとわからないや…」  
静かになった室内に霞がぺちやぺちやとちんぽをしゃぶる音だけが  
響き渡っている。



わかった!これだわ!  
このカリの高さ、臭い…太さ、みんな兄さんのものだわ…  
「これ…だと思えます」  
一本のちんぽを指し示すと「じゃあそのチンポを口だけでイかせてごらん、  
そうしたら答えを教えてあげる」そう声がして、  
霞は少し不安になりながらも一心不乱にそのちんぽを舐めたの…。  
びちゃ…じゅるる…にちゃ、くぷぷっ!!  
霞が舌をちんぽにからませ、口にくわえこみ、ちんぽをねぶると、  
男のくぐもった声とともに大量の精液が霞の顔に発射されました。  
びゅ!どぷぷ!ドブッ!!ゴブッ!

その精液の臭い、味で霞はふと気付いちゃったの…。  
「…こ、これは兄さんじゃない!!」  
「今日はこれで終わりにしてやろうと思ったがまさかはずすとはな、  
おしおきが必要なようだな、霞」  
兄さんの声は遠くから聞こえました…。



今日の修行はみんな失敗…  
こんなことされても当然なのよ…

自分に言い聞かせるが、緊張からなのか、自分でも信じたくなしが  
心待ちにしていたからなのか、心臓が高鳴ってしまう…。

ここ数日霞は「お仕置き」を受け続けているの…。  
その度に体がだんだんと変わってくるのがわかる…、最初は気持ち悪がった精液も  
今は喉で味わいながら感じられるようになってしまっています。

今日もまた里の男たちが集まり、霞の体を性欲を吐き出すためのおもちゃとしてあつかうの…。

「自分で脱げ」

霞はわずかにふるえながら衣服の前をはだけ、下着をするするとさげました。  
霞えは、期待によるものだと悟られないように、ゆっくりと恥じるように脱いだつもりでした…。  
しかしすべて見すがされているように仁王立して自分を見下ろす  
男たちのの目にさかっけしてしまいそうになってしまうの…。

早速男たちがおそいばかり、前戯もないままに膣にちんぽがねじこまれました。

しかし霞のまんこはもう準備ができていました…。

快感に顔を歪ませないように、霞は口を強くむすんで声をがまんしていたの…。

いくらまんこを犯されても声をあげない霞に  
男たちは次のステップに進むことを選択したようです。

おしりの穴に指をねじこみ、こねくりまわすと、  
連日犯されてすでにやわらかくなっている霞のケツ穴は  
ちんぽをのみこめるほどにかっばりとひらいちやったの…。

「あああんっ！」

我慢していた声をあげると霞はふっきれてしまって、いやらしく大きい尿をふって  
男たちにアピールしました。

「ケツ、ケツ穴犯して下さいっ！」

「あ～あ、切れちまったぜ、霞ちゃん」  
しょうがないなあ、という風に首をふって男は息を吐くと、  
一気に霞のアナルを犯しにかかりました。

「ああ！いい！いい！尿！！肉がひきずりだされちゃう！！お肉でちゃうよお！！」

ぐぼぐぼ！ずるっ、ぐぼ！！きゅぼっ！！

「あふっ、いいよお！ケツアナルいっちゃうよお！内臓までひきずりだして！！

ザーメン飲ませて～！！尿穴からごぶごぶ精子飲みたいよお～！！

霞はだらしなくよだれをたらし、うわ言のように卑猥な言葉をいれながら果ててしまいました。





「霞ちゃん、今日は昨日より五回多く中だしたら終わりにしようね」

誰かが油性マジックで霞のお尻に正の字を書いています。

「じゅう、いつかい…と。」

今日はあとたったの14本チンポ中だしすれば終わりだよ、よかったね、霞ちゃん」

「ふあ、あふう〜…」

霞は満足に返事も出来ずに精液を飲み干していました。

「精液飲み干したら、喉を通る時にいくんだよ」

そういわれてびくんびくんと体をふるわせながら精液を飲み干します。

そして下の口も、霞がいくのに反応してきゅっと締まります。

「おうっ、い、いく！！」

男の声がしてなまあたたかい精液が霞の子宮に注がれるのがわかります。

「ふはあ…あつたかい…精液い…」

他の男が笑いながら霞の尻の正の字に一本線を増やしています。

饗宴はまだまだ続くみたいです…。



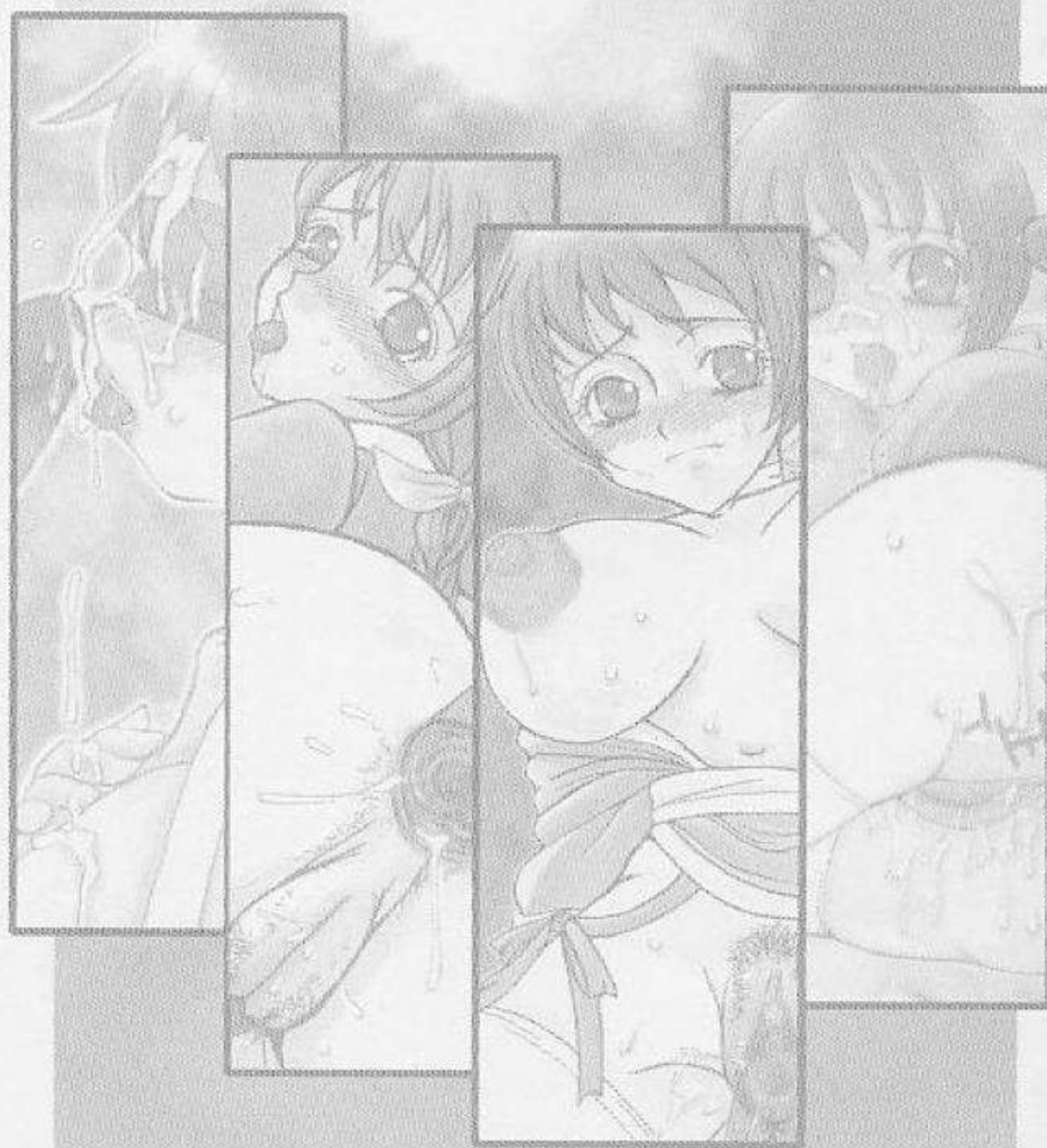
…途中で気を失ってしまったようで、霞は  
気が着けば誰もいないただっ広い部屋に、精液を体中にまみれさせたまま  
放置されていました。

月明かりがもれている部屋の畳の上にふたたび身を横たえます。

こうして長い長い一日が終了します。  
…今日も疲れたなあ…。  
でもゆっくり寝ているヒマはありません。  
明日も早朝から修行がはじまります。  
抜忍をやっているときとは違う緊張感…。  
でも兄さんが同じ里に、すぐ近くにいるのを感じられる、  
それだけで霞は幸せです。

とりあえず、少しの間でも…  
今はゆっくり体を横たえて休ませて下さい…。

おやすみなさい…。



「かすみちゃんのいちにち。」  
(2001年6月発行)より。

(元の雰囲気(へたれっばい感じ含む)を壊さない程度に絵と文を修正しました。)

かすみちゃんのいちにち

doru nihoko/sarururu  
2001/06



**20021006**  
**ザルルルル**  
**ドルリヘコ**

**印刷 BRO'S**

**個人HP 「PigeonBlood」**  
**http://riheko.easter.ne.jp/**  
**(引っ越ししました)**

**メールの宛先**  
**riheko@syd.odn.ne.jp**

**ダメ、ゼッタイ**



**無断転載、複写複製等禁止**  
**十八歳未満購読禁止**



デジタルなのに手書き後記でコンニチワ。  
自分字フォントでも作ってしまおうかしら。

# あとかがま

さて、わたくし。ゲームは「面白ければ後は  
どうでもいい」という考えの持ち主。キャラクタ  
の説定やサイドストーリーはあまり興味が  
なく、ゲーム内からの情報以外はあまり知  
りません。なので、特に一年以上前に書  
きました「かすみちゃんのいちにち。」など、  
「これでええのか?…」とってしまう所があ  
たりなかつたり(?)だと思っております。どうか  
お目こぼし願います。

次にDOA本を作る機会がありましたら、  
スキモの霞ちゃんと、耳年増で処女のあやね  
ちゃんを描いてみたいなあ。なんて思っています。RPG?  
レイファンも描きたい... 使用キャラなもので。



なみに  
うしは  
こう!  
どあ?



ドレハ 200209

では、またどこかでお会いできることを  
祈りつつ...! Good bye!